

## 福島で史蹟を巡る伊達な旅

平成26年9月24日の例会



台藩祖伊達政宗の足跡をこの地で見てきました。＜簡単に、皆様にも旅のガイドをさせていただきます。＞

「伊達62万石仙台藩」の城下町仙台へと導いた、伊達家発祥の地、福島県伊達郡・伊達市を旅して、鎌倉⇒室町⇒戦国⇒江戸時代と400年間の歴史を巡り伊達家の興りと伊達家17代・仙

1189年、下館の中村常陸入道念西（後に伊達朝宗に改名）は源頼朝の奥州合戦（奥州藤原氏を平定）に参陣して、軍功をあげた。頼朝よりその功績により、伊達郡の地を賜り、以後この地を統治し、伊達の姓に改名した。奥州藤原氏は＜国見町・阿津賀志山、山麓に防塁＞を築き源頼朝軍を迎え撃ったが、撃退できず、敗走した。1192年

頼朝は征夷大將軍に就き、鎌倉幕府を開府。

初代朝宗（ともむね）は高子カ岡に城館を構え、鎮護の神として鎌倉の鶴岡八幡宮を觀請し、龜岡八幡宮として祀り、城館山腹に社殿が残る。（現在、ご神体は政宗の移遷に伴い、仙台市川内の龜岡八幡宮に鎮座する。





「歴史の小道」にある朝宗の霊廟

朝宗の墓所は菩提寺・満勝寺の跡地に残る。仙台藩主は参勤交代の折には詣でたと伝えられる。

1247年、伊達氏4代政依は自身と先代達の菩提を弔うために「伊達五山」を建立した。(東昌寺・満勝寺・光明寺・観音寺・光福寺…臨濟宗) 現在、唯一残っているのが、観音寺(現在は浄土宗)。政宗は仙台開府の際に仙台城の鬼門を守るため、また伊達家・所縁の者を弔うため北山丘陵(青葉区北山周辺)に伊達五山を吸収独立し、北山五山(光明寺・満勝寺・東昌寺・覚範寺・資福寺)を建立した。

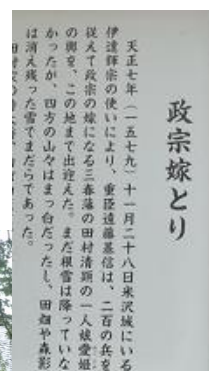
観音寺の付近には日本有数の榎(かや)の巨木。(根本から鎌倉時代の陶器などが出土)…(県指定天然記念物：万正寺の大カヤ)がある



高台にある観音寺の石段と石垣

梁川城は、1532年伊達氏14代植宗(たねむね)が桑折西山城に本拠を移すまでの長い間、伊達氏の居城であった。(その後は伊達氏の府城) 現在、「心字の池」を擁する本丸庭園跡地は小学校の敷地になっている。(城跡一帯は県の史跡名勝に指定) 伊達氏15代を継いだ晴宗は西山城を廃城し、本拠を山形県米沢に移した。(政宗は16代輝宗の家督として、1567年、米沢で生まれる。)

初代朝宗が建立した高子が岡の亀岡八幡宮は、梁川城築城の際に983年創建と伝えられる梁川八幡宮に合祀された。以来、伊達領総鎮守として、伊達氏の保護を受け修復・再建を重ねた。1579年政宗の正室、愛姫(めぐひめ)が三春・田村家より輿入れの際この神社脇地で伊達家が出迎えたとされている。また、1581年政宗は、伊達家府城である梁川城に滞在して、対相馬氏戦の戦勝祈願に八幡宮を参拝し、弱冠16歳にして初陣を飾った。



梁川八幡宮